



朝日電器 株式会社 <<https://www.elpa.co.jp>>
荒木産業株式会社 <<http://www.arakisangyo.co.jp>>
辻プラスチック株式会社 <<http://www.tsuji-pla.co.jp>>
Life create works COCON <<http://www.ifuc.jp>>
株式会社帝健 <<https://www.kk-teiken.co.jp>>
錦城護謨 株式会社 <<http://www.kinjogomu.jp>>
新和工業株式会社 <<https://www.shinwa.co.jp>>
株式会社総合サービス <<https://www.sservice.co.jp>>

(順不同)

MEMO

有限責任事業組合ユニバーサルデザイン企画

■運営に関するお問合せはメールで
mail : llp.ud.kikaku1@gmail.com

HP 改訂しました。

詳しくは二次元バーコードから
アクセスして下さい。

<https://www.llp-udkikaku.com>



2023年5月発行 (800部) ¥100

日常の延長線上にある



防災

命をまもる、
みんなで助かる。
あなたも、
あなたの大切な人も。



LLPユニバーサルデザイン企画



目次

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 要配慮者とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 防災のユニバーサルデザイン化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 災害の想定と危機管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 「自助」「公助」「共助」それぞれの役割と連携・・・・・・・・6
- 助け合いの仕組みづくり「互助」・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- タイムラインで考える避難所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7.8
- タイムラインで考えるこんな時の為に事前の備え【災害発生時】・・・・9.10
- タイムラインで考えるこんな時の為に事前の備え【避難所での暮らし】・・11.12
- SDGsにつながる理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13.14



—はじめに—

ユニバーサルデザイン

災害時、要配慮者を中心として
 公平・公正に安全・安心を提供できる防災は
 誰にとっても安全・安心が手に入ります。
 防災は非日常的なものとして捉えられがちです。
 しかし日常生活の延長線上に防災があります。
 人が生きるために必要なものは、日常でも、非日常においても
 衣食住・教育・危機管理です。

私たちは
防災のユニバーサルデザインに
 取り組んでいます



【 要配慮者 】とは

高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人
災害時に自力で避難することが困難な人のこと。
または、安全な場所に避難する際に支援を要する人のこと。

高齢者

障がい者

妊産婦
乳幼児

傷病人

日本語に不慣れな
外国人



普段から看護・介護・介助・保護が必要な人は
自分の命を守ろうとしても、一人では逃げることも困難です。

~~逃げなかった~~ < **逃げられなかった**

普段健康な人が、病気やケガをした場合には、傷病人になります。
旅先や知らない土地で災害に遭った場合など、帰宅困難者となります。
誰もが要配慮者になり得るのです。



防災のユニバーサルデザイン

(ユニバーサルデザイン=すべての生活者に対応したデザイン)

私たちLLP※ユニバーサルデザイン企画は
防災啓発活動を行っております。

※LLP=有限責任事業組合



要配慮者の命をまもる防災コーナー

大阪南港 ATC (ITM 棟11F) エイジレスセンター内 「要配慮者の防災コーナー」
グリーンエコプラザ内 「環境・防災ゾーン」にて
LLP ユニバーサルデザイン企画の各企業の商品を常設展示しています。
館内スタッフが商品のご説明もいたします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

入館無料

開館時間 / 10:00 ~ 16:30

休館日 / 月曜・年末年始

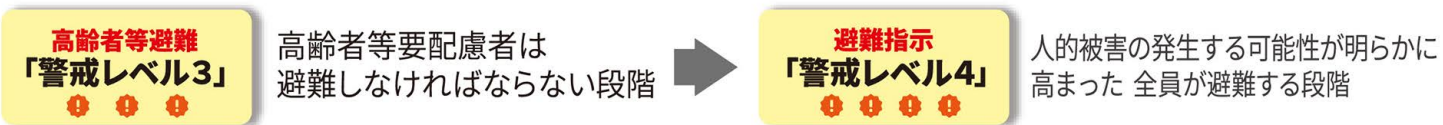


災害の想定と危機管理

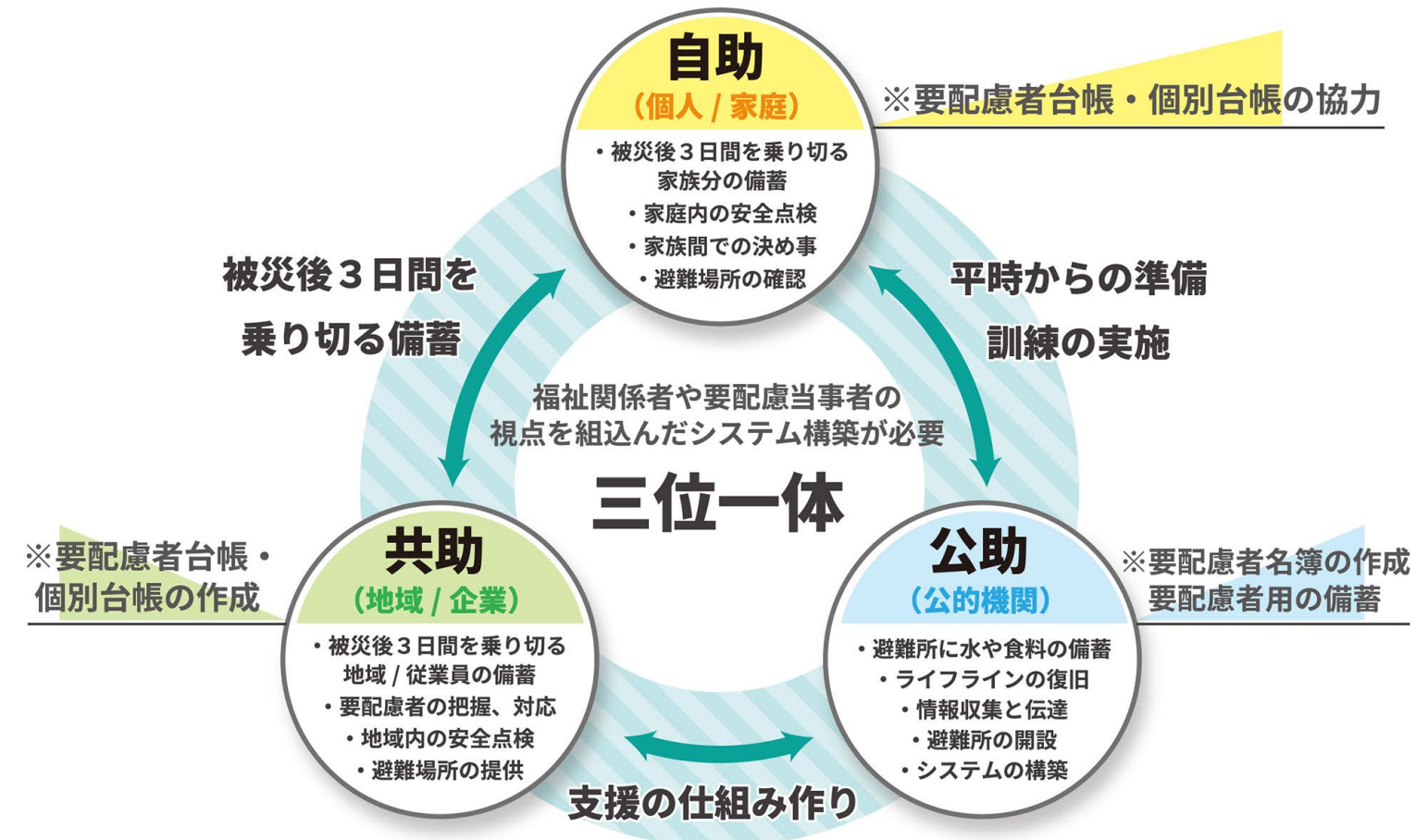
東日本大震災以来、地震と津波の想定の見直しが行われましたが自然災害はそれだけではありません。毎年のようにやってくる台風や豪雨災害、土砂災害にも目を向け様々な災害を想定する必要があります。台風や豪雨災害は天気予報などで予測が可能です。土砂災害もその土地の特性を知ることでおおよその予測が可能になります。警戒レベル3が発令される前に自ら情報を得て対策をすることが重要です。※令和3年には、「警戒レベル3」が発令された場合、高齢者等要配慮者は危険な場所から避難するよう避難情報に関するガイドラインが改定されました。



日本中どこにいてもこれらの災害にあう可能性があります。また、災害は重複して起こります。



「自助」「共助」「公助」それぞれの役割と連携



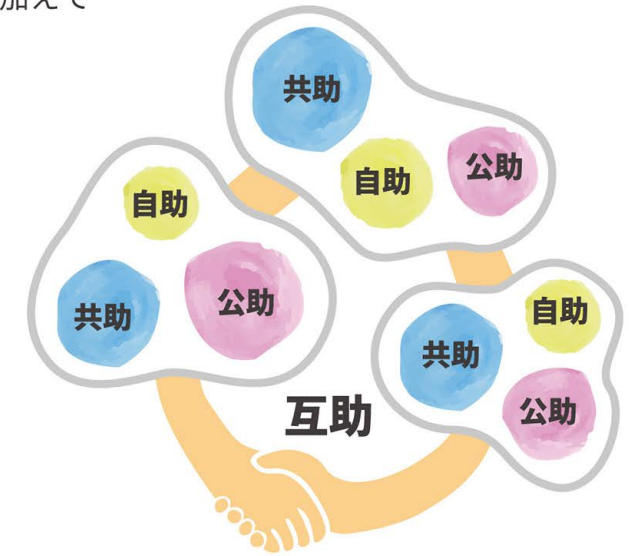
助け合いの仕組みづくり 「互助」

要配慮者の防災を考える上で、自助・共助・公助に加えて大切なのが「互助（ごじょ）」の取組みです。

災害時の様々な危機的状況を想定した際、自分たちの地域だけではどうにもならない物理的課題が発生した場合は他地域との連携が必要不可欠です。

「地域内に要配慮者を受け入れ可能な病院がない。」
「避難所での生活は不安だが、遠方の親戚宅で暮らすことができる。」など、それぞれの立ち位置で手助けができることを活かして支援する。

これが互助という助け合いコミュニケーションです。



過去の災害経験から学ぶこと

日本はいくつもの大災害に見舞われ、多くの犠牲者を出してきました。災害が唯一残したものは「教訓」です。これを決して無駄にはしてはいけません。

めったに起こらないから大丈夫...
誰かがやってくれるだろう...
自分はなんとかなる...
私の住む地域は大丈夫...!
すぐに復旧するだろう...

たった一度の災害が大きな被害を残します。
“だれか”ではなく**自らの備え**が命を守ります。
まずは自分が助からなければ人を助けられません。
地震の活断層は**日本中にあり、異常気象も多発しています。**
数か月・数年たっても**復旧が進まない現状**があります。

安全神話はありません！

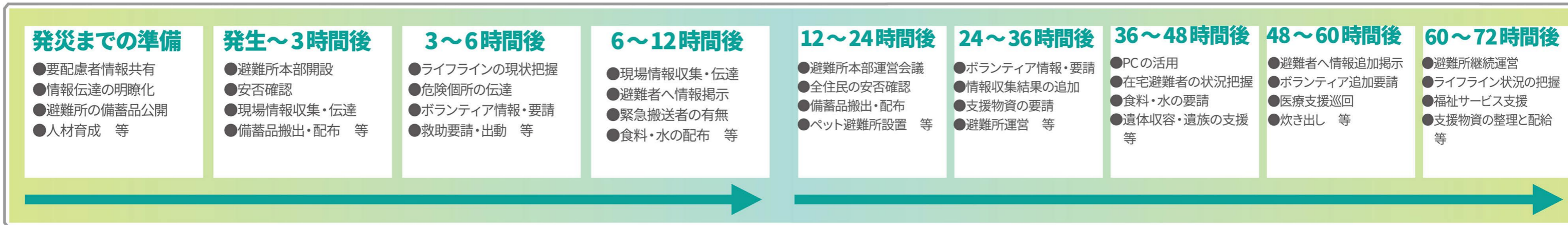


タイムラインで考える避難所

災害発生後、3～6時間は支援が届くまでは地域内で対応し乗り越えなければいけません。12時間・24時間・36時間と、時間の経過とともに状況はどんどん変化していきます。

避難所の運営を考える際、情報の一元化が重要になってきます。必要事項をタイムラインで表示する事で、時間の経過と共に必要な情報や支援物資を可視化することができます。また、災害発生時から72時間まで、状況にうまく対応するためには、女性・学生・企業・障がい者・防災リーダーやボランティアリーダー等の事前の育成も不可欠です。

タイムラインに沿った情報の一元化【例】



check!!

避難の警戒レベル

行政より「警戒レベル3」が発令されると、避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は一次避難へ避難し、その後開設される福祉避難所へ移動することになっています。しかし現実ではレベル3が発令されてもすぐに避難所が開設されなかったり、一次避難所から福祉避難所への移動ですでに危険な状態になっていたりすることもあります。また一般の避難所には福祉的・医療的設備が整っていないことから要配慮者が避難を躊躇したり、避難所の存在を知らないケースもある等々、課題も多く存在します。

解決策として・・・

- 福祉避難所を一次避難所にする
- 福祉避難所がどこにあるか広く告知する
- 予め要配慮者の登録を行ってもらう
- 近隣の福祉及び医療関係者と連携の提携をしておく
- 登録された方の状態に合わせた設備や備蓄をする
- 一次避難所の一角に福祉避難所のスペースを設ける

等が考えられます。 親子支援・災害看護支援*とめつと代表 山中弓子氏の資料より

令和3年5月に避難情報に関するガイドラインが改定されました。

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保 (市町村が発令)
警戒レベル4までに必ず避難!			
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 (市町村が発令)
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等避難	高齢者等避難 (市町村が発令)
警戒レベル2	気象状況の悪化	自らの避難行動を 確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)
警戒レベル1	今後気象状況の悪化の恐れ	災害への心構えを 高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。
 (注) 避難指示は、令和3年の災害法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する。

身体障害者補助犬法について



目の不自由な方の歩行サポートをする「盲導犬」
 身体の不自由な方のサポートをする「介助犬」
 耳の不自由な方に音を知らせる「聴導犬」この3種類の犬を補助犬といいます。

平成14年に施行された身体障害者補助犬法には次の3つの柱があります。

1. 補助犬を育成する団体には良質な補助犬の育成と指導を義務付ける。
2. ユーザー(補助犬使用者)には補助犬の適切な行動と健康の管理を義務付ける。
3. 公共施設・交通機関、スーパー・飲食店・ホテル・病院や職場などで、補助犬同伴の受け入れを義務付ける。

この法律をきっかけとして「補助犬は障がい者の身体の一部であり、それを拒むことは障がい者の社会参加を否定することになる」ということが、社会の共通認識となるよう取り組んでいきます。

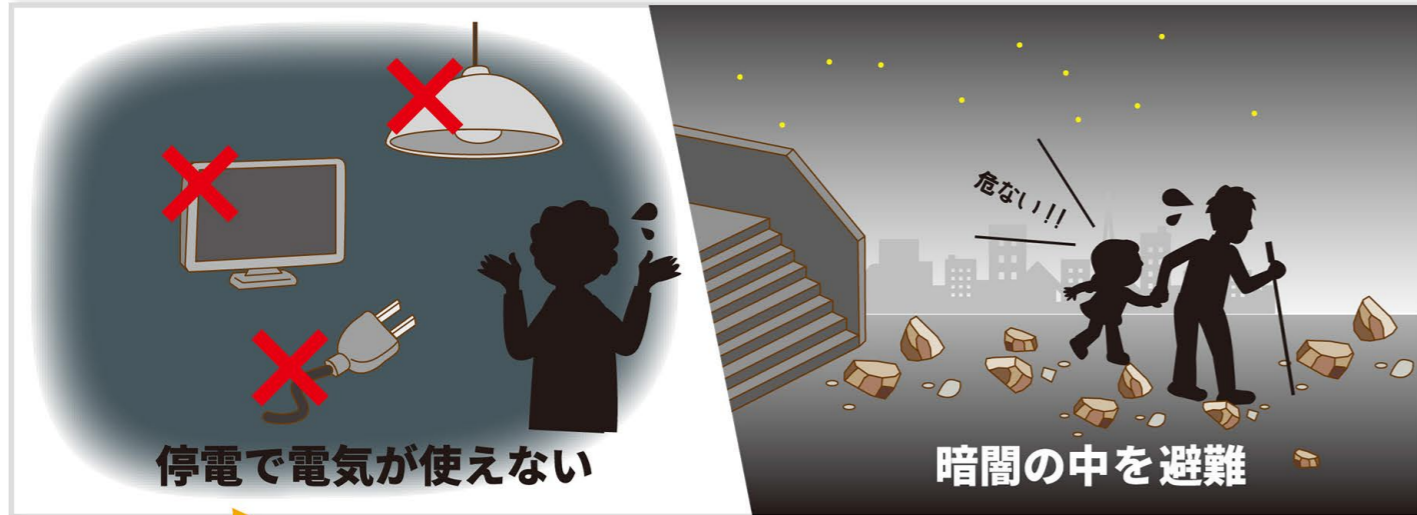
「公益財団法人日本補助犬協会」資料より

タイムラインで考える **こんな時の為に 事前の備え!!** **【災害発生時】**

災害発生



scene.1 【停電】



停電で電気が使えない

暗闇の中を避難

scene.2 【行方不明】



避難場所がわからない

相手の居場所がわからない



インジケータ付き
アルミライト

電池残量が見えるインジケータ
及びフォーカス機能搭載



両手が使え、バンド部のLED点滅で
後方へも存在アピール。

スポーツライト (ネックタイプ)



充電できるライト

ラジオ&ライト&充電の3WAY
緊急時の明かりや携帯の充電にも使える



ELPA
朝日電器 株式会社

所在地：大阪府大東市新田旭町 4-10
TEL：072-871-5065 FAX：072-871-5110
mail：arima@elpa.co.jp 担当者：有馬 直純



階段の緊急搬送に

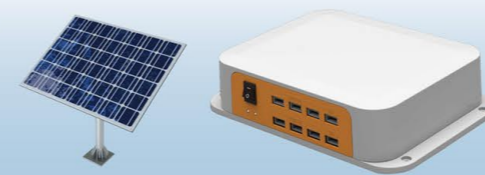
救助
担架 **フレスト**



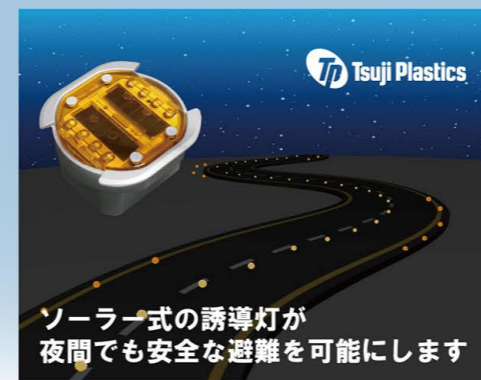
- 1 安全** エレベーターが止まっても階段を安全に運搬
- 2 安心** ゆったりサイズで要配慮者に安心感
- 3 快適** 頭部持ち手がバランスよく快適な搬送
- 4 簡単** 援護者の身長差はベルトの長さで簡単調節
- 5 便利** 肩パットにタオルとさらしが収納してあるので便利
- 6 思いやり** 援護者と要配慮者の双方に配慮した設計

株式会社 **帝健**

所在地：大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト31F
TEL：06-6233-3563 FAX：06-6233-5108
mail：honda-t@teijin-frontier.com 担当者：本多



スマホ用ソーラー充電器が
災害時の充電不安を解消します



ソーラー式の誘導灯が
夜間でも安全な避難を可能にします

辻プラスチック株式会社

所在地：滋賀県東近江市五個荘奥町 160 番地
TEL：0748-48-2206 FAX：0748-48-2720
mail：contact3@tsuji-pla.co.jp 担当者：SA課 浅居



if u series
イフ・シリーズ

防水 防塵 耐衝撃

- 防塵・防水のIP67取得
- 太陽光でも充電可能
- 補充電は年1回でOK
- 誰でも安全・簡単操作

必要な場所に電気を運ぶ
屋内用緊急電源



IEUC-500
電池容量：440W～880W



専用ソーラーシート

電池容量 300W～1500W・その他特注品承ります。

LIFE create works
COCON

ライフ クリエイト ワークス **ココン**

所在地：大阪府豊中市大黒町 2-25-7
TEL・FAX：06-6334-2322
mail：lifecreate.cocon@gmail.com
担当者：藤沢



日頃からの備えで大きく変わる初期対応

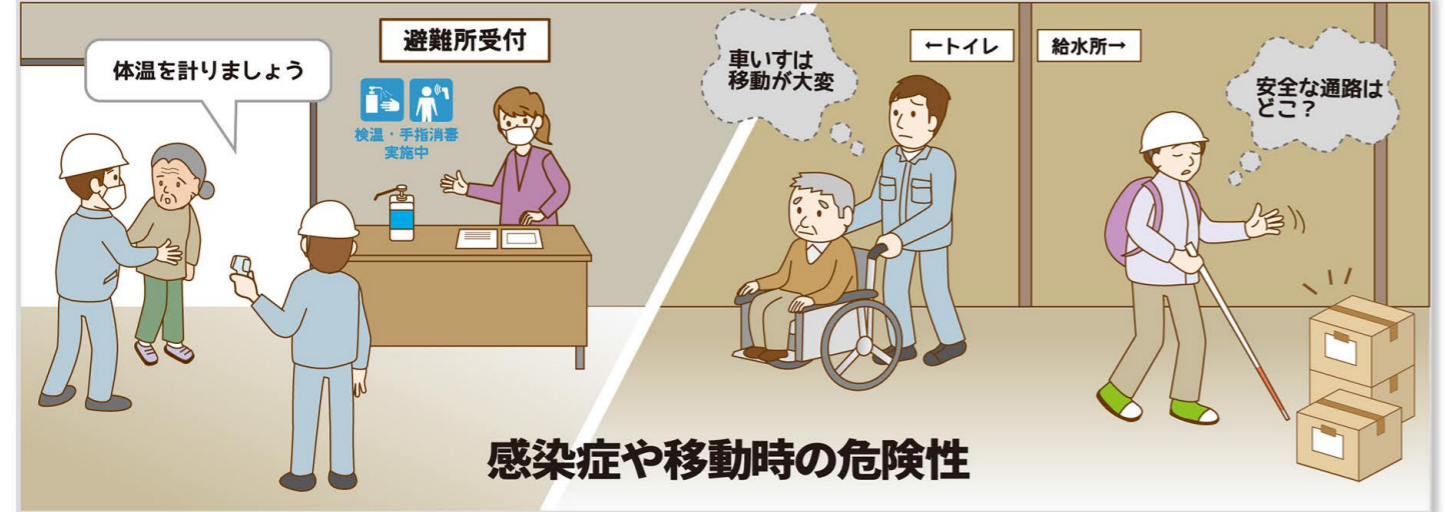
様々な情報収集に必要な不可欠な電力

タイムラインで考える こんな時の為に 事前の備え!! 【避難所での暮らし】

避難所生活



scene.3 【避難所への入所】

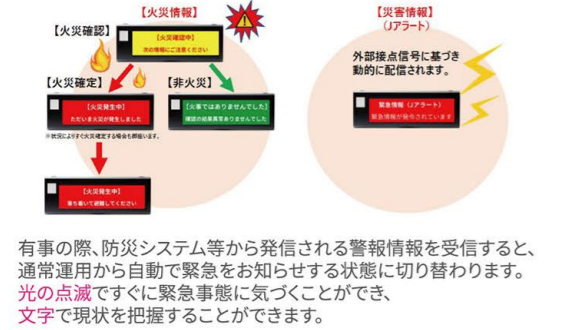


scene.4 【暮らしに必要な設備】



EIS 緊急情報システム

聴覚に障がいを持った方に対し、「文字」と「光」により緊急情報などをお知らせし、災害から非難するための援助を行うことができるシステムです。



Guideway 歩導くん

視覚障がい者歩行誘導ソフトマット

ガタガタしない誘導路

要援護者の移動をサポート 視覚障がい者歩行誘導マット

- ・ひとりで移動できるようになることで、視覚障がい者の心の負担、支援者の労力の負担を軽減
- ・ゴム製マットのため、足音が響きにくい
- ・スロープ形状で台車や車いすの通行がスムーズ
- ・平時は教材やイベント時に利用



錦城護謨 株式会社

所在地：大阪府八尾市跡部北の町 1-4-25
TEL：072-992-2328
mail：info_bf@kinjogomu.jp
担当者：バリアフリー推進課

新和工業 株式会社

所在地：神戸市中央区多間通 5-3-13
TEL：078-382-2231
mail：info@shinwa.co.jp 担当者：高藤

音でお知らせ・注意喚起 みまもりベル



移動の際に音で周囲に注意喚起することで支援者が受けやすくなります。

荒木産業 株式会社

所在地：大阪市生野区箕南 4-5-2
TEL：06-6792-5580 FAX：06-6791-5774
mail：k.araki@arakisangyo.co.jp 担当者：荒木

要援護者のヘルプコールに ワイヤレスインターホン

配線不要
通信距離 見通し 約100m

- ・双方向通話、一斉呼びかけ可能。
- ・配線不要！充電式だから持ち運びOK。
- ・最大4台まで接続。
- ・家庭用から業務用まで様々なシーン活用。
- ・使いやすさを考えた表示シールを付属。

乾電池式 手をかざすだけ オートディスペンサー

感染対策は手洗いが基本です！
触らないから 汚れ・雑菌がつかず 衛生的

ELPA 朝日電器 株式会社

災害対策用携帯トイレ サニタクリーン便袋

既存便器を活用。便器に被せるだけで使用可能。燃えるゴミとして廃棄出来ます。

簡易止水対策 水のう君

水を入れるだけですばやく準備！袋は再利用可能。食品衛生法適用で飲料水の保管も可能。

株式会社 総合サービス

所在地：東京都中央区日本橋 3-14-5
mail：t-misono@sservice.co.jp
TEL：03-3274-2448 FAX：03-3274-2710
担当者：御園

SDGs につながる理念

LLPユニバーサルデザイン企画が掲げる理念、及びご提案は世界が注目するSDGsに多く通じています。我々の活動を通して多くの地域社会に、要配慮者を含むすべての命をまもる備えが広まることを望みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースHIPで目標を達成しよう	

私たちの新しい取り組み

LLP ユニバーサルデザイン企画基本理念

3 すべての人に健康と福祉を

10 人や国の不平等をなくそう

**命をまもる みんなで助かる
誰もがみんな ふつうの暮らし**

避難所運営の考え方

11 住み続けられるまちづくりを

13 気候変動に具体的な対策を

**福祉避難所を併設した
「併設避難所」**

**ニーズに合わせた支援ができる
「福祉避難室」の配置**

地域社会との助け合い

17 パートナースHIPで目標を達成しよう

**それぞれの役割と
助け合いの仕組み作り**

私たちの仲間の取り組み



サブサハラ・アフリカの地方では無電化地域が広がっており、3人に1人が電気にアクセスすることができません。バッテリー不要なソーラー充電器により、需要の高い携帯電話や夜の灯りに必要な充電式ランタンを地域内で充電可能となり、生活の改善に繋がっています。(辻プラスチック株式会社)

有限責任事業組合ユニバーサルデザイン企画

- 朝日電器 株式会社 <<https://www.elpa.co.jp>>
- 荒木産業株式会社 <<http://www.arakisangyo.co.jp>>
- 辻プラスチック株式会社 <<http://www.tsuji-pla.co.jp>>
- Life create works COCON <<http://www.ifuc.jp>>
- 株式会社帝健 <<https://www.kk-teiken.co.jp>>
- 錦城護謄 株式会社 <<http://www.kinjogomu.jp>>
- 新和工業株式会社 <<https://www.shinwa.co.jp>>
- 株式会社総合サービス <<https://www.sservice.co.jp>>

(順不同)